

埼玉県ラグビーフットボール協会のMVVを共創する

Creative Session

Future Branding Session

埼玉県ラグビーフットボール協会が、
2025年をきっかけに、新たなフェーズへ。

埼玉県ラグビーフットボール協会の、
本質的な強みとは。
目指すべきものは。
将来の可能性は。
ラグビーで未来社会を、
どのような社会に変えていくのか？

現状の把握の先に、埼玉県ラグビーフットボール協会の、
可能性を創造するセッションを運営。

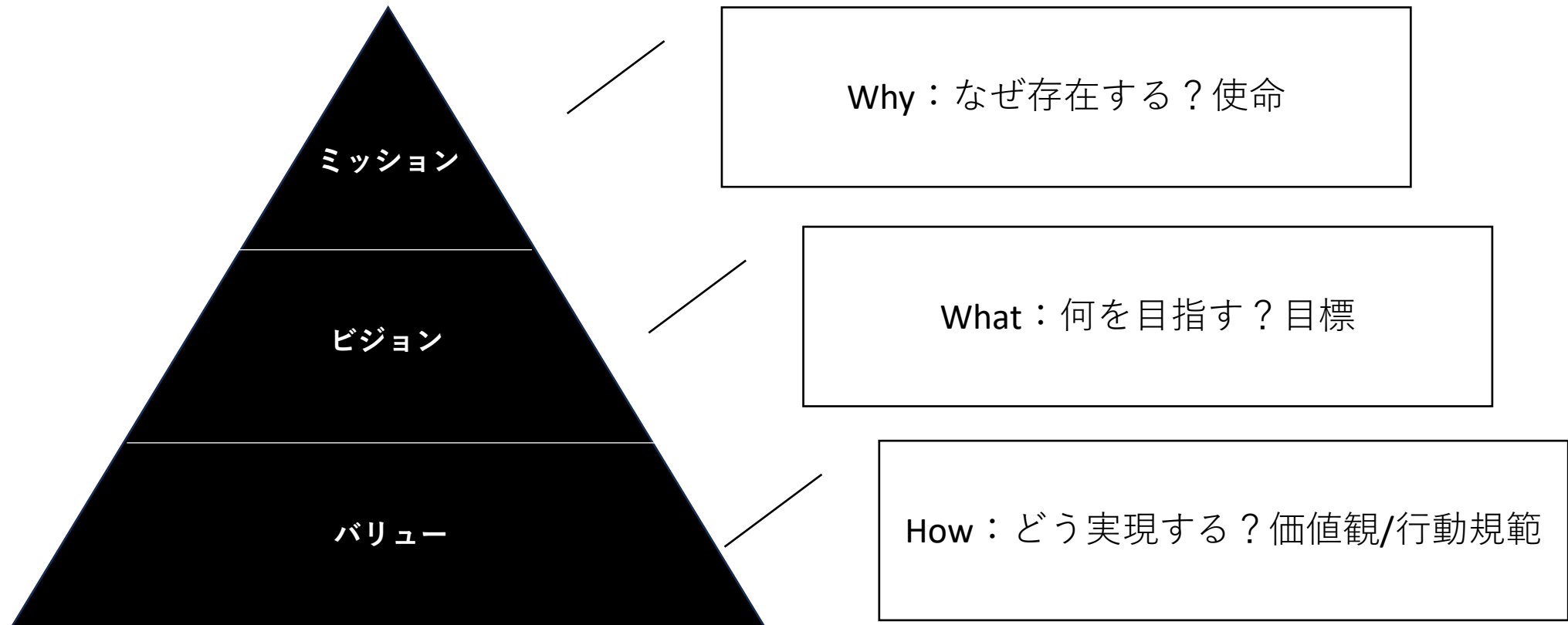
現状把握

未来共創

埼玉県ラグビーフットボール協会の可能性

本日のゴール

埼玉県ラグビーフットボール協会のミッション/ビジョン/バリュー



埼玉県ラグビーフットボール協会の強み

ラグビーカルチャー

ラグビー好きな大人も子供もファンも多く、スクールも多く、ラグビーをどうにかしたいと思っている。
そして、熱き指導者・熱きサポーターもいる。

ボランティア

ラグビーボランティア組織とのつながりがあり、ボランティアが根付いている。

ラグビー設備

ホテル・グラウンド・クラブハウス・屋内練習場。24000人収容のスタジアム。
ラグビー専用5面を持つ。ラグビータウン熊谷。

ラグビーチーム

リーグワン3チーム。ワイルドナイツ・セコム・ヤクルト。大学チームも。
女子ラグビーアルカスの存在（日本代表も数多く輩出）

大会運営能力

全国高校選抜大会、大学対抗戦・リーグ戦・リーグワンなど、
各カテゴリーの大会運営ができ、他県に比べ、人材が揃い、協力体制、強いつながり。

つくりたい未来

試合がなくても、ワイルドナイツのユニホームを着用して居酒屋にいる人々。

ラグビーを話題に、人と人がつながり、活力があふれている世界。

子供もラグビー、親もラグビーを生涯スポーツで楽しんでいる。

部活地域移行に対して、合同チームをつくり、全国大会に出られるように。

親子で、ラグビージャージを着て、公園で遊んでいる。

小学生が、ラグビーをもって、公園で遊んでいる。

プレイしている選手が多すぎて、試合を組むのが大変な状況。

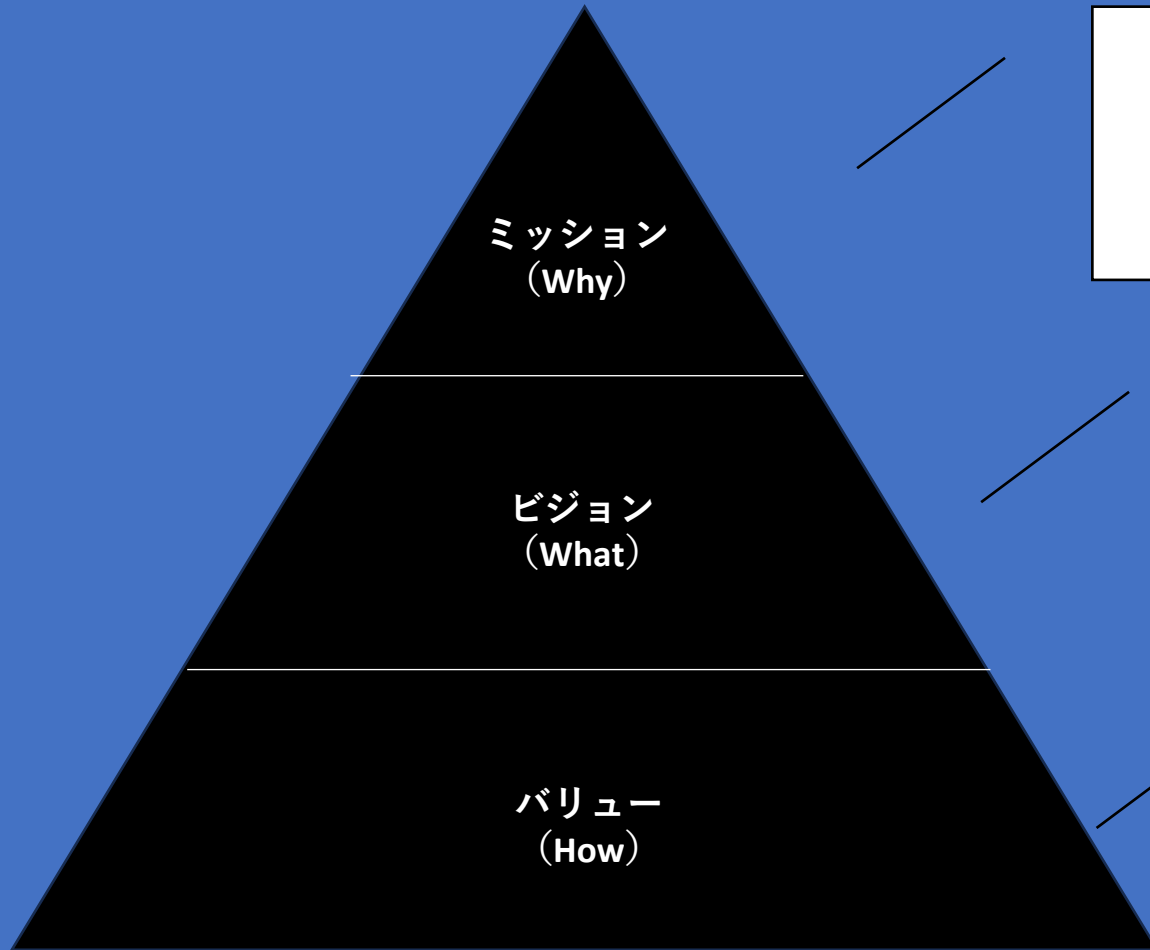
そのために、すべきこと

ラグビーを通じて、元気で活力がある地域をつくる。
新たなラグビーの聖地へ。

ラグビーの魅力・楽しさを伝え、ラグビーを楽しめる場と機会と環境を提供する。
(ラグビーファミリー/ラグビー人口増加)

ラグビー場（人工芝）の整備。親に対しての講演会の実施。
ラグビーによる人間力の向上。指導者の育成。
ラグビーをやりたい人が、ラグビーをできるようにする。

埼玉県ラグビーフットボール協会のミッション/ビジョン/バリュー



(ラグビーカルチャーがあるからこそ)

ラグビーの「情熱」をつなぎ、
ラグビーで「地域」を活気づけ、
ラグビーで「人材」を育成する。

ラグビーの“魅力・楽しさ”を伝え、
ラグビーを“楽しめる場と機会と環境”を提供する。

ラグビーへの情熱を忘れない。

×

ラグビーを誰よりも楽しむ。